



大阪市教育局

殿

2024年5月29日 大阪母親大会連絡会

委員長 松永 律

学校行事として万博に子どもたちを連れて行くことを
学校現場に文字通り強要することはやめてください。

来年4月からの万博に「学校の判断任せる」と言いながら、5月中に計画を出すように要請し、
子どもたちを連れていくことを半ば強制しようとしていることには反対です。

理由としては、

① 会場の夢洲は危険であること

3月に起きたメタンガスの引火による爆発は今後も起こりうる危険な状況であること。
万全な対策が取られておらず不安は増すばかりです。

② 交通の便が橋とトンネルの二通りしかなく、災害時には孤立化し、自宅に戻る事が困難になること。大きな台風や津波により、命を落とす可能性すらある。

③ トイレも少なく、順番を待つ、子どもにとっては我慢を強いられ、お漏らしの可能性もあること

④ 弁当を食べる休憩所が2000人分しかなく、1日平均1万人以上も来る子どもたちの休憩所が不足すること。

⑤ これからの季節は熱中症の危険性が高くなり、万が一具合が悪くなっても救急車がすぐには来れない環境であること。

⑥ 海外パビリオンの建設が遅れに遅れて、見学し、学ぶことができるかもわからない状態であること。入館する為に、長時間待たされ、健康を害す子どもも出てくる可能性があること

⑦ 学校現場の教師の中から見通しのない中で計画を出すように要請されることに不安や不満がある中での要請は教育の精神に違反する。

以上のようなことから、私たちは子どもたちを危険にさらす万博への遠足は許すことはできません。

学校現場に混乱をきたし、教育の独立を踏み破るやり方はやめてください。

学校への要請を中止することを要請します。